

石垣市家庭教育支援チーム広報紙

希(き)杜(ず)南(な)

希：希望に満ちた家庭
杜：島を守る緑豊かな杜(神聖な森)
南：南ぬ島(ぱいぬしま)石垣島

【発行目的】

- 支援チームの活動報告と家庭教育に関する
- 情報の提供を行い、青少年の健全育成に資する。



【連絡】

石垣市教育委員会 (いきいき学び課)
沖縄県石垣市美崎町16-6
TEL 0980-83-0373
FAX 0980-83-9251
Eメール kyo-manabi@city.ishigaki.okinawa.jp

家庭教育支援総合推進事業

海人体験/稲わら円座づくり/種ダンゴづくり 実施・報告

参加者の声も聴いてネ



海人体験

魚さばき・貝細工

期 日：令和元年8月24日(土) 10:00~15:00

場 所：伊原間船越漁港(直売所・休憩所)

講 師：平良正吉、平良八重子(石垣市学び遊び活動支援人材バンク)

参加者：親16名/子23名 計39名



目的：親子海人体験講座を通して海の恵みを知り、海への感謝を深め、親子間のコミュニケーションを図る。

【参加者の声】

父親 「普段の生活の中で、魚のさばき等に関する事は無いので、今日はありがたいことでした。」

母親 「子どもが嫌がらず魚をさばいていたので、今後は、魚に触れ合う機会をたくさん作ります。」

子 「貝殻で、人魚の家を作りました。シャコガイを併せて作りました。うれしいです。」

子 「大きくなったら、海人になりたいです。」



稲わら円座づくり

期 日：令和元年9月8日(日) 9:00~16:00

場 所：石垣市立平得公民館

講 師：上地 和雄 (石垣市学び遊び活動支援人材バンク)

参加者：親14名/子17名 計31名



目的：稲ワラを活用した「円座づくり」を行い、日常の生活に取り入れることで、自然材料の特性と良さを認識した家族の育成を図ることを目的とする。

【参加者の声】

父親 「自分は懐かしく楽しかった。今時の子どもには難しいですね。民具づくりは必要です。」

母親 「子どもと一緒に作った円座は宝物です。いろいろ教えてください。」

母親 「とても難しいです。自然素材の材料は特徴的です。子育てと一緒にかな。」

子 「難しく、先生がいないとできません。でも、出来上がりは良いと思います。」

子 「ワラを綱に編んで、ぐるぐる巻いて、ゲットウの茎で結んで、とっても難しかった。」



種ダンゴづくり

期 日：令和元年11月10日(日)13:00~17:00

場 所：石垣市中央運動公園 屋内運動場

講 師：花谷友子(石垣市家庭教育支援チーム)

参加者：親子162名



目的：親子で種ダンゴづくりを実施することで、花を愛でる心の育成と、土の恵みへの感謝を深め、親子のコミュニケーション向上に資することを目的とする。

【参加者の声】

父親 「種ダンゴからどんな花が咲くか、娘と楽しみにします。」

父親 「貴重な体験に感謝します。黒土に触れる子どもの顔は真剣であり、土の力を知ってビックリしたようでした。体験は多いほうがいいですね。」

母親 「学校からチラシが来て家族で出かけようと計画しました。種ダンゴって何だろうとワクワクしました。土いじりは、私の子どもの頃と亡き母を思い出しました。」

母親 「今日は家族5人で参加しました。種ダンゴを家でも作って、お花いっぱい庭にしたいです。作り方も丁寧に説明され作り方シートあったので分かりやすかった。シートを写真に撮りました。」

子 「とっても楽しかった。園長先生が頑張ってねとお知らせをあげたので、お花が咲いたら園長先生にもっていきます。」

子 「手が真っ黒になった。でも、洗ったらすぐきれいになったよ。楽しかった。もっと作りたい、明日もする？」

